

受付番号	6	受付月日	平成30年5月28日 午前・午後9時15分
------	---	------	--------------------------

東郷町議会副議長 若園 ひでこ 殿

東郷町議会議員

議席番号 16番 氏名 星野 靖江 ⑩

一 般 質 問 通 告 書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について
質問（一問一答方式・~~一括質問方式~~）したいので通告します。

記

No. 2 - 1

質問事項	質 問 要 旨	答 弁 者
1 まちの将来 ビジョンにつ いて	<p>(1) 少子高齢社会を迎えた今、東郷町の将来ビジョンを明確にする重要な時代であると認識しています。</p> <p>さて、平成30年度の予算が可決され、スタートしましたが、町長は、この先4年間は現体制に立ち向かうこと、そして、町政「刷新」との報道をされました。今後の町政に関する見解と課題についてお尋ねします。</p> <p>① 今年度は、第5次総合計画から第6次総合計画策定への移行期にあたり、特に重要な年度であることは、行政に携わる職員や議会、各種関係機関や町民も充分承知している。</p> <p>さて、今年度執行予定の事業も含め、将来ビジョンに関する基本的な考えは。</p> <p>② 二択の選挙戦と捉えている。例えば、一例として「道の駅」完全見直しの公約を挙げ、「反対論・賛成論」の賛否を短期間で問うたことである。その根拠を明確にすべき責務があると考えられるが、報道ではアンケート調査を視野に検討するとのこと。アンケート調査方法について具体的な対策は。</p> <p>③ 将来を見通した財源構成を懸念する。そこで、住民目線の町政運営を公約されたが、現時点において特に早急に取り組むべき事業の考えは。また、取り組みたい事業とは。その見解は。</p>	町 長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
<p>2 人にやさしい公共交通機関の充実について</p>	<p>(1) 超高齢社会を迎え、公共交通機関であるバス路線は、町民の唯一の移動手段であります。今後は鉄道駅の無い本町にとって、バス路線計画の再編成も含め、必要不可欠な課題であると思っています。</p> <p>そこで、人にやさしい公共交通機関の充実の観点からお尋ねします。</p> <p>① 町内巡回バスの利用者は、日常生活の移動手段のひとつであるが、主に公共施設や関係機関、買い物や通院などに利用されている。その利用状況と推移に関する見解は。</p> <p>② 鉄道駅無き本町は、公共交通網の充実に向け、利便性や利用促進対策を重要な施策と考慮し、もよりの駅とを結ぶ路線など諸課題に取り組み、創意工夫と見直しに努めてきたと認識している。</p> <p>ところで、町内における巡回バスの停留所の環境整備も課題であると思うが、当局の整備計画は。</p> <p>③ 今後は、さらなる公共交通機関の充実が必要不可欠であるが、近隣市との連携路線など検討予定であると認識しているが、マッチ・ポイント的な発想の転換を図る必要があると考えられる。</p> <p>そこで、まちの中心核であるセントラル開発「賑わいの創出」事業を点と面的な思考回路による発想の転換を活かしつつ、暮らしに直結した公共交通網とバスターミナルの具体的なプランは。</p>	<p>担当部長</p>

(注) 要旨は、具体的に記載すること。